



# 油断禁物！「結核」は過去の病気じゃない！！

## 感染症発生動向速報

(令和2年第38週分・9月14日～9月20日)

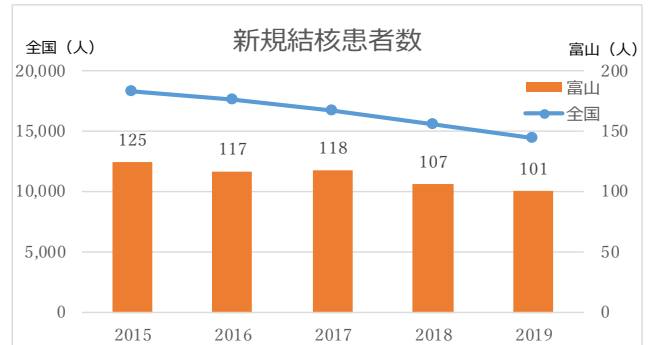
令和2年9月24日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

### 《インフォメーション》

#### 結核予防週間(9/24～9/30)

毎年9/24～9/30は厚生労働省が定めた「結核予防週間」です。国民に対し結核に関する正しい知識の普及啓発に努めています。

結核は過去の病気と思われがちですが、今もなお、毎年約1万5千人の新規結核患者が全国で報告され(図参照)、約2千人が亡くなっています。患者の年齢分布では高齢者の割合の高い状態が続いています。また、外国生まれの患者が増加傾向です(2019年で約10%)。富山県でも、新規感染者が毎年約100人報告されています。



出典：厚生労働省 2019年結核登録者情報調査年報集計結果について

結核は、結核菌を原因とする感染症です。肺に侵入して病巣を作ることが多く、患者の咳などに含まれる菌が飛散し、空気中を浮遊し、周囲の人がそれを吸い込むことで感染します(空気感染)。感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。しかし、加齢などで免疫力が低下すると、菌の増殖を抑えられなくなり発病します。結核は、発病しても早期発見、治療により治る病気です。しかし、肺結核は、咳、痰、微熱や倦怠感などの軽い症状が長引き、気づかないうちに進行してしまうことがあります。このような症状が2週間以上続き、いつもの風邪症状と異なるようであれば、その旨を医師に相談してください。早期診断につなげることが大切です。

また、乳幼児の場合、大人と比べ抵抗力が弱く、感染すると重症化しやすいため、定期接種対象年齢(通常1歳に至るまで)の乳幼児にはBCGワクチンを必ず接種させましょう。

### 《全数報告の感染症》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 2件
- 二類感染症 結核 2件(①②ともに70歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(20歳代、女性、O26、VT1)
- 五類感染症 梅毒 1件(第37週診断分：50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.28(↓)	2.83
2位	突発性発しん	0.41(↑)	0.38
3位	マイコプラズマ肺炎	0.40(↑)	0.20
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31(↓)	0.55
5位	咽頭結膜熱	0.28(↑)	0.14
6位	手足口病	0.14(↑)	0.03
	流行性角結膜炎	0.14(↑)	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第38週 令和2年9月14日～令和2年9月20日）

分類	疾患	今週報告分（第38週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症			2			2	36	13	38	10	313	410
二類感染症	結核			2			2	13	3	25	8	28	77
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1			9		13	22
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							9				1	10
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		12	1	13	27
五類感染症	アメーバ赤痢									1	1	2	4
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2		4	1	3	10
	急性脳炎							2		1		1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		5	7
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		5	9
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		4		13	19
	破傷風											2	2
	百日咳											24	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190
RSウイルス感染症								2	5	26	4	37	74
咽頭結膜熱		3 0.75		2 0.25		3 0.30	8 0.28	89	56	110	8	83	346
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1 0.25		3 0.38		5 0.50	9 0.31	120	180	1,158	171	1,337	2,966
感染性胃腸炎		14 3.50	11 3.67	16 2.00	2 0.50	23 2.30	66 2.28	907	511	650	257	1,837	4,162
水痘				1 0.13			1 0.03	29	30	69	17	96	241
手足口病				2 0.25		2 0.20	4 0.14	18	3	28	8	55	112
伝染性紅斑								9	26	32		162	229
突発性発しん		1 0.25	1 0.33	3 0.38	1 0.25	6 0.60	12 0.41	28	21	157	57	142	405
ヘルパンギーナ		2 0.50					2 0.07	60	2	14	3	8	87
流行性耳下腺炎			1 0.33				1 0.03		7	6	4	14	31
流行性角結膜炎			1 1.00				1 0.14	1	6	8	2		17
細菌性髄膜炎										1			1
無菌性髄膜炎								1			1	5	7
マイコプラズマ肺炎			2 2.00				2 0.40	2	10	24	16	9	61
クラミジア肺炎												1	1
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）													0

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。